

大津北中学校の取り組み

北中人権五カ条

大津北中学校が「北中人権五カ条」を作ったのは、今から2年前です。きっかけは、大津北中学校を訪問した小学生の「大津北中学校にはじめはありますか」という質問に、自信を持って「無い」と答えられなかったことでした。そこで、当時の生徒会が中心になって「北中人権五カ条」を作り、いじめ根絶に取り組みました。現在の生徒会もその取り組みを引き継ぎ、年間を通していじめ根絶に取り組んでいます。「北中人権五カ条」は、人権委員会が廊下や各教室



大津北中学校生徒会の皆さん

北中人権五カ条

- 私たちは、一人一人を大切にできる仲間作りをめざし、北中人権五カ条を制定します。
- 一、私たちは、お互いの個性や意見を尊重し、思いやりを大切にします。
 - 一、私たちは「感謝」と「励まし」の言葉を大切にします。
 - 一、私たちは、いじめ、暴言、暴力を絶対に許しません。
 - 一、私たちは、嫌なことをされたとき、黙ったままではいけません。
 - 一、私たちは、人の命の尊さを理解し、行動します。
- 以上のことを実現するために日々努力していくことをここに宣言します。
- 平成二十二年十月
大津北中学校 生徒一同

に掲示し、いつでも生徒たちが見て意識できるようになっています。

また、自他共に大切にすることを育てる取り組みとして、毎朝、放送委員会のアナウンスで全員黙想した後、人権五カ条を読んで、1日の目標を確認しています。今年からは、黙想の後に人権五カ条を1日一カ条ずつ読み上げる取り組みも開始しました。

「KIITACHU 東日本復興支援プロジェクトつばさ」

生徒会では、東日本大震災の被災地復興



震災関連の記事を選び、自分の思いや考えをまとめて張り出した

興のために、募金活動、震災関連の新聞記事の切り取りなどを行いました。選択家庭科の授業では、手作りスクールバックやシューズ入れなどを作り、被災地に寄付しました。被災地の復興を支援することは、被災地の人々を大切にすることです。それは、身近な人を大切にすることにもつながります。自分の隣にいる人を大切にして、支え合っていくことが大事なのだと思えることができれば、「北中人権五カ条」も意識でき、いじめをなくすことにもつながるのです。今後は、環境委員を中心に、学校内の畑でからいもを作り、福島に届けることも計画しています。

「北中人権五カ条」の中でも掲げられている「仲間作り」という言葉。しかし、その言葉を実際の行動に移すのは、とても難しいものです。次のページでは、今年3月に発行された「人権作文第34集かいほう」の中から作文「本当の仲間」を紹介いたします。

「本当の仲間」

私は中学校に入学してから、いろいろな面でたくさんのことを学びました。その中でも人権学習では特に大切なことを学びました。その一つが「仲間」についてです。小学校の時も、仲間は大切だと勉強して、大切だとわかっていましたが、仲間という存在を言葉でしか受け止めていませんでした。

中学校に入学して、私は吹奏楽部に入学しました。その中でミーティングをしたときに先輩がこうおっしゃいました。

「私たちがミーティングをするのは本当の仲間になるためにするのだよ。仲間とは小学校の時みたいに遊んだりする仲のいい友達だけではなく、何でも言い合えて互いにサポートしあえるのが仲間だと思ってね」

私はそれを聞いて、これまでの自分のことを振り返りました。今まで私は、仲間とは仲のいい友達のことだと思っていたので、先輩の話聞いて、「本当の仲間」ということについて考えることができませんでした。でも、私はそこで思いました。「本当の仲間」になるためにはどうすればいいのかということ。私は、その疑問を心の中にとどめたまま少し嫌なことをされているということ

言ってくれました。私たちが彼女に対して、実際にきつくあたっていたところもあったと思いました。私たちはそのことについて真剣に話し合い、解決していったと思います。同時に私は、こうして仲間になっていくのだとわかってきました。

その後彼女は、学年集会で発表したときも、「みんながいたから解決できた」と言ってくれていたの、とてもうれしかったです。部活内では、それから雰囲気もよくなったと思います。

まだ部活内では、一年生は完全な仲間になりきれないと思います。でも、少しずつ一歩ずつだけど、本当の仲間に近いと思っています。これから、一層よい仲間になっていきたいです。

仲間のことは、クラスにも当てはまります。班ノートを回したり、クラスミーティングをしたりしますが、まだ表面だけの仲間です。本当の仲間になりきれないと思います。それは、クラス内で私語が多いからです。仲間であれば、迷惑をかけたくないと思うので、私語をして他人の時間をうばうようなことは絶対にしなないと思います。それどころか、私語をしている人がいたら注意すると思います。私語をしている人

高濱 宥樹

自分では気づいていないかもしれないけど、私語をすることによって、仲間の輪は乱れてしまいます。私はいわゆる人たちに同じクラスの一人として、「仲間」として注意する責任があると思います。

私は、まだ本当に「仲間」について理解できたとは言えないけど、4月からこの数ヶ月のあいだに、私は仲間になるためには、互いを理解したり、何かのきっかけをつかむことが大切だと学びました。部活の友達のこと、彼女に辛い思いをさせてしま、あまりいいきつかけとはいえないかもしれないけど、そのことで仲間について深く考えることができました。クラスの事でも、仲間についての理解が深まって、相手を思う心や仲間としての責任などを学ぶ事ができました。これから一年間、いろいろなことがあると思うけど、この経験を生かして少しずつだけ本当の仲間になっていきたいと思えます。

最後に、「仲間」についての私の考え方を伝えてくださったり、仲間の意味を教えてください。先輩方のおかげで、この数ヶ月のあいだに、仲間についての考え方は大きく変わりました。ありがとうございます。

家庭での取り組み

- 家族のふれあいの中で子どもの心の状況を把握しましょう。親と子どもの時間が合わないために、一緒に過ごす時間が少なくなっていますか？家族と過ごす時間は大切です。家族で少しずつでも調整して、食事の時間を合わせたり、就寝前の時間などを利用したりして、学校の話、友達、将来について話す時間をつくりましょう。
- 感動を共感できる機会を設けて取り組みましょう。(自然体験、スポーツ、親子読書など)

地域での取り組み

- 地域の活動の中に、子どもが協力しながら主体的に取り組む場をつくりましょう。
- 地域の人々との交流などを通して、子どもたちの相手を思いやる気持ちや、人と関わる力をはぐくみ、心のきずなを深めましょう。
- 多くの大人の目で、子どもを見守る地域環境をつくりましょう。



大津北中学校2年 高濱宥樹さん(室)

いじめをなくすためには、学校だけではなく、家庭や地域でも取り組みを行うことが非常に重要です。右は、その取り組みの一例です。いじめは、子どもだけに限らず、大人も含めたすべての人に関係がある問題だと言えます。今後も、町全体でいじめ根絶に取り組み、大津町からいじめをなくしましょう。

悩みは1人で抱え込まず、相談しましょう

学校で悩み事や心配事があったら、早めに学校にご相談ください。早期対応が早期解決につながります。菊池教育事務所には「いじめ・不登校アドバイザー」が配置されています。電話や教育事務所での相談をはじめ、ご家庭に直接お伺いしての相談にも対応します。

相談機関名	相談時間など	電話番号
いじめ問題		
熊本県子どもいじめ相談電話	月～金 午後5時15分～ 午前8時30分 土・日 24時間	(0570) 078310 ※PHS、IP電話からはつながりません
いじめ・不登校問題など		
いじめ・不登校アドバイザー 菊池教育事務所内	月・水・木 午前8時30分～午後3時30分	0968 (25) 3351
全般的な悩み相談		
熊本のいのちの電話	年中無休 24時間	(353) 4343
子どもの人権110番	月～金 午前8時30分～午後5時15分 (時間外は留守電対応)	0120 (007) 110 (フリーダイヤル)
チャイルドラインくまもと	月・金 午後4時～午後9時	(211) 5117
チャイルドライン熊本おおづ子どもサポネット	木～土 午後3時～午後6時	(294) 2229